

## 会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、京都府・市を中心に全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2022年 5月 21日 (土)

10:00 ~ 11:00 事例発表

11:00 ~ 11:30 教育最新事情

プログラム Zoomを利用したオンライン開催

10:00~10:30 事例発表 1

算数科「データの活用」領域における自動車調べを題材とした1年生の実践

保科 一生 (京都教育大学附属京都小中学校 教諭)

10:30~11:00 事例発表 2

Microsoft Teamsを使った高校数学オンライン授業づくり

木下 卓海 (京都府立山城高等学校 教諭)

11:00~11:30 教育最新事情

Borderless Learning for All Students / ウクライナ教育支援プロジェクト

黒田 恭史 (京都教育大学教育学部数学科 教授)

対象 小・中・高等学校教員、学生、一般 **定員100名**

申込先

URL(QRコード)にアクセスして

お申し込みください。 **申込締切：5月12日**

<https://forms.gle/bdhzME4ZxKQgwGGZ8>



問い合わせ

黒田恭史 (京都教育大学)

ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

※第15回以降の発表者も、随時受け付けておりますのでご連絡ください。

第14回

「これからの算数・数学教育を考える会」